

プレアヴィヒア ナチュラルプロジェクト

日本カンボジア文化産業振興会

小学校へ寄付支援

主体団体のテラオライテックカンボジアが現地視察で来訪されました。来訪のタイミングで現地小学校へのノートや鉛筆の寄付支援を行われました。コロナで休校していた学校も再開をしていますが、コロナ前の全校生徒から比較すると生徒数が約半分に減少している現状です。校長先生ともお話をさせていただきましたが、コロナで生活が困窮して学校へ通っていた子供たちも家の手伝いで通学が出来なくなったり、住む場所を変えて移動していった家族など様々です。生徒からはとても喜んでいただき、主体団体としては今後も小学校への寄付を継続していきたいと考えており、学校側からの要望などディスカッションをしました。

やはり、学校側からの要望は大掛かりなものが多かったですが、私たちも要望に応じていけるように今後も努力していきたいです。また、貧困世帯で家に水源の無いご家族も訪問し、生活状況を伺いました。乾季では水の確保に多くの時間を費やしており、こちらも将来的に主体団体から井戸の寄付を行っていく予定で進めています。



編集後記

カンボジアの学校制度

カンボジアの学校制度は日本と同じように、小学生の期間が6年、中学生が3年、高校生が3年、その後大学といった流れです。カンボジアではグレードという呼び方をして、グレード1が小学1年生～グレード12で高校3年生といった感じで、グレード12まで習得していたら高校卒業と同じイメージです。親御さんは子供にきちんと勉強させてやりたいという人が多くなっていますが、過去のポルポト政権で知識人の大量虐殺の経緯などもあり、まだまだカンボジア全土で先生の数が不足しているのが現状です。

